

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2020 No.58

inaokigakuen news letter



特集1

大学サッカー部
「天皇杯第100回大会」に出場決定!!

特集2

星稜高校将棋部
勝負の一手を指す日まで

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

Amitié Seiryô ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜 Information / 星稜 Pick up

それぞれの今を
全力で取り組もう!!

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくは裏表紙をご覧ください



大学サッカー部

「天皇杯第100回大会」に出場決定!!

8月29日(土)酷暑の中、「石川県サッカー選手権大会」の決勝戦が金沢市民サッカー場で行われました。

コロナ禍で練習ができない、ボールに触れない日々を経て、自粛解除後は自主練から朝練までチーム一丸となって欠かさず取り組み、決勝までコマを進めてきた本学のサッカー部。決勝戦の相手は宿敵の北陸大学。昨年度も同カードで、結果は0-2で敗戦となり、苦渋を味わった相手です。

リベンジをかけた今年度の決勝。後半18分、今季のテーマとして掲げてきた「クロスからのシュート」がここ一番で発揮され、それが見事決勝点となり、1-0で優勝を果たしました。この優勝により、9月から始まる天皇杯への出場権を獲得しました。



決勝点を決めた花枝龍之介さん(スポーツ学科1年次)



キャプテンのコメント

人間科学部スポーツ学科4年次 河野隼平さん

はじめに、県選手権を開催するにあたりご尽力して頂いた石川県サッカー協会の皆様と星稜大サッカー部の活動に対して御理解と御協力頂いた稲置理事長、篠崎学長をはじめとする教職員の皆様へ感謝の気持ちを伝えたいです。

この度、私達は県選手権で優勝し、記念すべき「天皇杯 第100回大会」に出場することが決まりました。約2カ月に及ぶ自粛期間の中でも各々が意識高くトレーニングに取り組み、チームとして同じベクトルを向くことができました。

また、全体練習が再開され、「サッカーができる環境は当たり前ではない」ということを再認識し、毎日のトレーニングに集中することができ、その結果が優勝に繋がったと思います。

今年こそは2年前のリベンジを果たすべく、1回戦を突破します。皆様、星稜大サッカー部の応援をお願いいたします。



サッカー部マネージャー
金沢星稜大学女子短期大学部
経営実務科2年次 小河愛珠さん

私は、大学サッカー部のマネージャーをしているおかげで、本場に充実した毎日を送れています。部活は毎日楽しく、一番嬉しいことは勝利と一緒に喜べることです。5年連続で全国大会出場を決めることができ、私の仕事が部員の糧になったと実感しました。

マネージャーとして、サッカーを本気で愛する部員達のサポートをすることができ、とても誇らしく思います。

私は、星大サッカー部の皆が大好きです。今後とも応援よろしく願っています。

(2020年9月1日現在)



特集

星稜高校将棋部 勝負の一手を指す日まで

現役高校生棋士、藤井聡太二冠の活躍で大きく注目されている将棋。
星稜高校の将棋部は歴史も古く、県内の強豪校としてこれまでに数々の実績を残してきました。
部長の北山佳奈さん（2年生/Aコース）に、将棋の魅力やこれからの目標などについてお話を聞きました。

星稜高校将棋部は、毎週水曜日の放課後に生物実験室で約1時間練習を行っています。現在の部員は3年生が引退されたため、2年生5人、1年生2人の計7人です。そのうち女子は私一人。皆が集まってひたすら対局する、というのが練習のスタイルです。

将棋は難しいと思われがちですが、駒の動きさえ覚えれば、指すのも見るのも楽しめる競技だと思えます。

初心者から始める部員も多く、初めて将棋をする生徒にとっては入りやすい雰囲気かなと思います。将棋は年齢や性別問わず楽しめるものですが、どうしても男子のイメージが強いことと、難しそうというイメージがあるので、それらを克服で



きればもっと部員の数も増えて、部全体の實力も底上げできると思えます。

将棋は「先を読む」ことがとても大切です。今は攻めの一手を指すべきか、守りの一手を指すべきか、短い時間の中で判断します。また対局中は自分一人だけで戦わなければならない、集中力も養われます。もし読みが外れたり行き詰まった時は、一から立て直していく切り替えの早さも重要です。それは経験だけで養われるものではなく、ひらめきも大切になる場面が多いですね。

私自身、小学5年生から将棋を始めて、中学1〜3年生の時と、高校に入学してから県大会の女子の部で優勝してきました。来年の1月にも全国大会に出場する予定で、そ



こでベスト16に入ることを目指しています。そのために、これまで全国大会で出会った同世代のライバル達とオンラインで対局したりして、練習を重ねています。

将棋には、序盤・中盤・終盤があり、序盤では戦い始めるにあたって攻める形を作っていく、中盤はお互いが攻め合って、終盤は勝敗を決める最後の攻防が繰り広げられる、という流れで進んでいきます。個人的には中盤の攻めが課題になっていて、加えて終盤が勝負を決める重要な場面なので、そこを固めるために本を読んで日々研究しています。

個人として、そして部としてもこれまで以上の成績を残せるよう、頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします。



顧問 廣瀬浩明 先生

北山さんは小中学生の頃から実績を残してきており、県内でも一目置かれる存在です。Aコースということもあり、まさに文武両道を体現しているのではないのでしょうか。これまでの卒業生にも、全国大会で上位に入る成績を残し、進学した大学でも将棋部の部長になるなど、全国的に活躍する先輩達がいます。現在の部員の多くは初心者から始めているのですが、先輩方と同じく素質は十分にあるので、経験を積み、より一層の飛躍が期待できます。「決断力」や「先を読む力」を鍛える将棋を通じて、部員同士が切磋琢磨して、人間力を高めていってほしいと思います。

■北山佳奈さんのこれまでの実績

第37回 全国中学生選抜将棋選手権石川県大会	優勝
第38回	優勝
第39回	優勝
第37回 全国中学生選抜将棋選手権大会	ベスト32
第38回	出場
第39回	ベスト32
第55回 全国高等学校将棋選手権石川県大会	優勝
第55回 全国高等学校将棋選手権大会	出場
第28回 全国高等学校文化連盟将棋新人大会石川県大会	優勝
第28回 全国高等学校文化連盟将棋新人大会	ベスト32

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
上野 槇子 先生

子どもを第一に考えた
指導に感動し、志望

私がこの仕事を志したのは早く、保育園児のときです。母が保育士だったのでその仕事に親しみやすく、当時から妹や近所の年下の子たちのお世話が楽しくて、自然とその道を目指しました。大学で幼児教育について学ぶ中で、ゼミの先生から勧めていただいたのが、星稜幼稚園でした。私の恩師と園長先生が親しかったので見学させてもらったところ、私が漠然と理想だと思っていた保育が実践されていると感じ、「ぜひここで働きたい」と志望しました。頭ごなしの指導ではなく、すべて「子どもファースト」を基本に、子ども達の自主性と自発性を育める保育、それが実現できている環境に感動しました。

実際に勤めてからも、子ども達が主役で、子ども達がのびのびと元気に過ごしているのを見るところれしく感じます。また同僚の先生方もとても親切で、自分に余裕がないときにすかさず声をかけてくれ手伝ってくれます。さらに何でも話をしやすく、「こんな初歩的なことを聞いたら駄目かな」という質問でも懇切丁寧に答えてくれ、本当に助かっています。

園児の気持ちに、しっかりと 応えられる先生を目指します。

協調性や思いやりの心を 育むための工夫を

先生として目指す姿は、子ども達一人ひとりの気持ちに応えられる人。子どもは一人ひとり個性も、感情の起伏の大きさもまったく違います。そんな子どもたちが少しでも楽しく幼稚園での生活を送れるよう、私が寄り添ってあげたいと考えています。

また一方で、協調性も身につけてほしいと思い、園庭やプレイルームに出る際は積極的に声をかけて、皆で一緒に遊べるよう工夫しています。加えて思いやりの心も育てたいとの考えから、自分の気持ちは素直に表現するようにしています。例えば叩かれて痛かったら、我慢するのではなく正直に話すことで、大人であっても嫌なことをされたら悲しくなると伝えていきます。そして働く中でしみじみ感じるのは、この仕事の楽しさです。園児達は皆本



今は年中児「ばら組」の担任を務めており、毎日たくさんの園児とふれあっています。

当にかわいらしく、そしてそんなかわいさ溢れる時期を一緒に過ごせるのはとても幸せです。
教員生活を送ってまだ4年目ですが、忘れられないのが、とても恥ずかしがり屋の園児さんのことです。まだ卒園前ですが、入園当時は話しかけてもうなずくだけだった子が1年後には自己主張ができるようになり、保護者の方から「先生のおかげで積極的になりました」と感謝の言葉を寄せていただいたのが本当にうれしく、また自分の教育者としての成長も実感できました。この仕事は子ども達の成長に大きな影響を与えることを心に留めながら、これからも頑張っていきたいです。

私自身、体を動かすことが好きなので、園庭やプレイルームでは一緒に遊ぼうとしています。



★ 大学オリジナル マスク制作！

新型コロナウイルス感染症
予防対策のツールとして、
大学の硬式野球部、サッカー
部、剣道部が星稜オリジナ
ルマスクを制作しました！
夏季シーズンの試合や練習
の合間にも、快適に使える
冷感対応マスクとして選手
全員に配付しました。



★ 経済学部 夏の1年次研修開催

8月25日(火)・26日(水)の残暑が続く中、本学において経済学
部1年次ゼミ別研修を任意参加の下で行いました。
2020年度前期授業がすべてオンライン授業となった経済学
部の学生。これにより多くの1年次学生は4月上旬以来、久し
ぶりにキャンパス内へ足を踏み入れたこととなります。

研修内容はアイスブレイクの1環として「チーム対抗パーセント
ボールンクイズ」が行われたり、サポート先輩学生も交わり、フェ
イスガード越しに感染対策をとった中で懇談会を実施しました。

1年次の学生は皆、オンラインでしか出会えなかった同じゼミ
生達と対面で会話をすることができ、一人ひとりが特別な時間を過
ごせた研修となりました。



★ こども学科・国際文化学科 将来の自分を描く1年次研修 in 和倉温泉

9月上旬と中旬に、こども学科・国際文化学科を対象に1泊2日の新入生
研修を和倉温泉「のと楽」で行いました。コロナ禍で春の1年次研修が中止と
なり、前期は遠隔授業がメインとなったことから1年次同士の顔合わせも兼ね
て開催されたこの宿泊研修。学生の参加は任意で、2週間前から健康チェッ
クシートを毎日記録するなど、感染予防を徹底して行いました。両学科ともアイ
スブレイクから始まり、こども学科では温泉街巡りからのワークショップ、そ
してグループワークで作品を制作。国際文化学科では異文化体験談を参考に、
学生一人ひとりが4年間の目標を描くための実りある研修になりました。



★ 特別な夏の 卒アル写真撮影

8月末の残暑の中、
2年次の卒業アルバム
個人撮影を学内で行い
ました。

前期がオンライン授
業となり、久しぶりに
キャンパスに足を踏み
入れた2年次達。

星短の学生として残
り半年間という中で、
短大最後の夏休みを彼
女たちは過ごしていま
す。特別な夏となった
2020年の8月。9
月末から始まる後期授
業期間で、少しでも多
く星短に通学できる環
境になるように、そし
て少しでも多くの友人
達と笑顔溢れる思い出
が作れるように。



★ ガリレオ温度計、 ワイヤレス温度計にワクワク！

本校科学部が毎年取り組んでいる
「石川県中学生サイエンスチャレンジ」
の実施が取りやめとなり、代わりの取
り組みとして「科学に対する興味・関
心を高め、科学好きの裾野を広げる」
という目的の下、物品の配布などを行
いました。配付された「ガリレオ温度計」
や「ワイヤレス温度計」を手にした生
徒たちは、興味津々に観察しながら、
来年度の大会参加へと胸を弾ませてい
るようでした。



★部活動体験 (野球部・サッカー部)

8月30日(日)、中学3年生を対象として、部活動体験を開催しました！ 現況を鑑み、男子サッカー部と野球部の2つに限定しての実施となりましたが、総勢100名近くの中学生の皆さんが部活動体験に参加し、保護者には学校説明会にご参加いただき、活気ある楽しい体験会となりました。



★授業時数確保のため、土曜日特別授業を実施！

今年度はじめの臨時休校に伴い、6月27日(土)・7月11日(土)・25日(土)・8月8日(土)・22日(土)は、授業時数を少しでも確保するため、7限まで授業を実施しました。ただし、生徒の健康管理を最優先に考え、少しでも無理なく学習を継続していけるよう、試験に係る一部日程を除き、8月31日(月)までの授業を全て45分授業とし、8月1日(土)・7日(金)・8月17日(月)・21日(金)については、40分授業としました。



★県民一斉防災訓練 (シェイクアウトいしかわ)を実施しました。

7月8日(水)、本校では、「8:38頃、教室での朝礼中に地震が発生した」という想定で訓練を実施しました。校内放送を合図に、3つの安全行動「しゃがむ、隠れる、じつとする」を迅速にとることを目的としました。甚大な被害を及ぼす自然災害が多くなってきたため、今回は地震の訓練でしたが、防災意識を高める重要性を感じました。



★SEIRYO Campus Navigator 活動スタート！

7月20日(月)の昼休み開始と同時に、ついに「SEIRYO Campus Navigator」の活動がスタートしました！星稜の魅力やタイムリーな話題、インタビューなどを、音楽に合わせて発信し、生徒・教職員の心に元気を与える活動を目指す、生徒会活動の一環です。心温まる話と心弾む音楽で、星稜のランチプレイクを更に魅力的にしていきたいと思います！
(ナビゲーター…藤井悠一くん、中寫 凜成くん、安藤 友香さん、上田 咲希乃さん)



★3年生部活動加入者撮影会

7月30日(木)、3年生の部活動加入者の写真撮影を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの公式戦が中止・独自開催となり残念ではありましたが、撮影時の表情は明るく、非常に楽しそうな雰囲気の中での撮影会となりました。部活動で学んだことを次のステージで十分に発揮してもらいたいと思います。



★7月豪雨災害 緊急募金活動を実施！

8月3日(月)～8日(土)の期間、生徒会執行部の生徒を中心に、7月豪雨災害緊急募金活動を実施しました。株式会社テレビ金沢の24時間テレビと提携している活動です。登校時と昼食時間に、実施しました。ご協力ありがとうございました！ 8月20日(木)、テレビ金沢において、本校における「令和2年7月豪雨災害緊急募金」の活動で集まった63,070円を、生徒会長の田村 天くんに、お渡しすることができました。また、8月23日(日)には、「24時間テレビ「愛は地球を救う」」放送内で「コロナ禍で頑張る高校生」として、本校の募金活動の様子が放送されました。



中高 6月中旬からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

石川県高等学校女子サッカー Last Summer Cup 2020

兼 令和2年度石川県高等学校総合体育大会代替大会

・優勝

石川県高等学校野球大会

・準優勝

令和2年度石川県高等学校総合体育大会代替大会

ソフトボール競技

・男子の部 ・第2位

第22回石川県高等学校ゴルフ選手権大会

・女子個人 ・第2位 川端 涼香

・女子団体 ・第2位 川端 涼香、本田 彩夏、浦 礼香

第41回石川県女子アマチュアゴルフ選手権競技

・女子個人 ・第1位 川端 涼香

令和2年度石川県高等学校総合体育大会代替大会

・500mタイムトライアル ・第1位 又多 風緑

・第2位 山本 悠花

・2kmインデヴィデュアルパシュート ・第1位 又多 風緑

・第2位 山本 悠花

・女子チームスプリント ・第1位 又多 風緑、山本 悠花

石川県高校大会（総体代替大会）

レスリング個人戦

・60kg級 ・第3位 木野 敬士

・65kg級 ・第3位 山本 泰市

・71kg級 ・第3位 下川 璃駆

石川県高校総体陸上競技代替大会（金沢地区記録会）

・男子100m ・第3位 高辻 雄乃

・男子200m ・第3位 東 亮太

・男子400m ・第2位 中村 環優

・男子110mハードル ・第1位 大坂 一世

・男子110mハードル ・第3位 寺西 駿

・男子400mハードル ・第1位 寺西 駿

・男子400mハードル ・第2位 高森 翔吾

・男子4×100mリレー ・第2位 山田 航生、東 亮太

高辻 雄乃、岡部 光希

・男子4×400mリレー ・第3位 高森 翔吾、大阪 一世

辰巳 真心、寺西 駿

・男子棒高跳 ・第2位 高田 政吾

・男子走幅跳 ・第1位 高辻 雄乃

・男子走幅跳 ・第2位 中谷 賢太郎

・男子三段跳 ・第2位 山田 航生

・男子三段跳 ・第3位 中谷 賢太郎

・男子砲丸投 ・第1位 嵩村 翼

・男子やり投 ・第2位 堀 恵輔

・男子やり投 ・第3位 辰巳 真心

・女子100m ・第1位 荒井 涼香

・女子100m ・第3位 坂井 希帆

・女子200m ・第1位 荒井 涼香

・女子200m ・第3位 酢谷 羽瑠菜

・女子400m ・第1位 滝本 果南

・女子400m ・第2位 伊藤 すみれ

・女子400m ・第3位 本井 唯香

・女子800m ・第1位 谷口 ゆき

・女子800m ・第2位 荒木 瑞帆

・女子1500m ・第1位 谷口 ゆき

・女子1500m ・第2位 荒木 瑞帆

・女子100mハードル ・第1位 森田 愛梨

・女子100mハードル ・第2位 清水 優奈

・女子400mハードル ・第1位 清水 優奈

・女子5000m競歩 ・第1位 宇都宮 彩乃

・女子4×100mリレー ・第1位 藪越 さら、荒井 涼香

酢谷 羽瑠菜、坂井 希帆

・女子4×400mリレー ・第1位 伊藤 すみれ、荒井 涼香

荒木 瑞帆、清水 優奈

・女子4×400mリレー ・第2位 森田 愛梨、大塚 葉月

本井 唯香、谷口 ゆき

・女子4×400mリレー ・第3位 滝本 果南、酢谷 羽瑠菜

清水 琴美、坂井 希帆

・女子走高跳 ・第1位 清水 琴美

・女子棒高跳 ・第2位 東 愛花

・女子走幅跳 ・第1位 大塚 葉月

・女子走幅跳 ・第2位 池田 薫子

・女子三段跳 ・第1位 大塚 葉月

・女子三段跳 ・第2位 東 愛花

・女子砲丸投 ・第2位 高野 紗弥

・女子砲丸投 ・第3位 熊野 遥空

・女子円盤投 ・第2位 上岸 京香

・女子円盤投 ・第2位 宮坂 怜暖

・女子やり投 ・第1位 上岸 京香

石川県高校総体代替交流試合

男子サッカー競技

星稜 2-2 (0-2、2-0) 金沢桜丘高校

令和2年度石川県高等学校総合体育大会代替金沢地区大会

ソフトテニス

・男子 ・準優勝 江口 真士・山本 剛組

・女子 ・第3位 村上 夢菜・山岡 美月組

第62回加賀地区剣道大会

・団体 高校男子の部 ・第3位 山越 渚、中田 遥斗

松原 匠杜、杉山 怜

森 翔世

・団体 高校女子の部 ・第3位 益野 璃子、世戸 千尋

酒井 英、松田 悠花

西田 希帆

・個人 高校男子の部 ・第2位 森 翔世

・個人 高校女子の部 ・第2位 松田 悠花

・第3位 益野 璃子

令和2年度石川県高等学校新人体育大会

・男子50mバタフライ ・第1位 東度 毅

・男子100m背泳ぎ ・第1位 冬至 莞大

・男子50m自由形 ・第3位 冬至 莞大

・女子100m自由形 ・第3位 前多 理央

【星稜中学校】

金沢市中学校サッカー競技大会特別大会

・第1位

金沢市中学校軟式野球競技大会

・第1位

令和2年度石川県中学生テニス交流大会

・男子団体 ・第3位 大川 七海斗、中野 蓮

梅津 侑真、八野田 隼斗

供田 篤史、柴田 琉生

金沢市中学校水泳競技大会

・女子100mバタフライ ・第1位 中野 りふか

・女子400m個人メドレー ・第1位 中野 りふか

第66回全日本中学校通信陸上競技大会石川県大会

(アシックスチャレンジカップ)

・女子共通砲丸投 ・第1位 達田 和花

幼稚園
★暑かった夏★

今年は気温の高い日が多く暑い暑い夏でした。星稜幼稚園の園庭にはミストが設置され、子ども達は涼をとりながら遊ぶことができました。そよそよと風に乗ってやって来る冷たさは優しく心地よく、爽快感や開放感を味わう空間になりました。



★年長お楽しみ会★

恒例のお泊り保育に代わり、2020お楽しみ会として年長児が幼稚園で特別な一日を過ごしました。この日は登園してから夕食までずっと友達と一緒に、ツエーゲン金沢のキッズキャラバンに参加したり、スタンプラリーや映画鑑賞をしました。いつもとは違う雰囲気、に終始楽しそうな子ども達の様子から幼稚園最後の夏のよい思い出になったことと嬉しく思っています。



★サッカー応援★

星稜U-6FCの年長児が金沢市民サッカー場で行われた天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権大会で星稜大イレブンを応援しました。ボールの行方を目で追いかけて、高いキックや飛距離のあるキックでは思わず「金沢フルの屋根まで届く」と声がもれていました。大きなグラウンドでの迫力あるプレーを間近で見たことはきっと貴重な体験になったことでしょう。最後は頑張った選手の皆さんに大きな拍手を送っていました。



★野球体験★

星稜キッズBaseball体験に年長児の希望者が参加しました。星稜大硬式野球部の学生達と一緒に、投げる、捕る、打つなど野球の基本動作を体験しました。最初はボールに翻弄されていました、手のひらを使って捕ることを教わると少しずつコツをつかみ「ナイスキャッチ」「ナイススイング!」の声が響き楽しい時間があったという間に過ぎました。今回の体験が課外活動発足の第一歩になることを願っています。



★大桑くるくる広場★

年長児、年中児が1クラスずつ公園に遊びに行きました。園バスでのお出かけとあってとても楽しみにしていて、道中もワクワクした様子でした。初めての遊具にチャレンジしたり、坂道を走ったりトランポリンや滑り台などで友達と一緒に思い切り遊んでいました。



幼稚園 星野幼稚園
☆園庭には自然がいっぱい☆

今年の夏は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、大型プールで遊ぶことができませんでした。その分、いろいろな水遊びやセミ捕りを楽しみました！色水遊びやじゃぶじゃぶ池、泥んこあそび、そして今年新しく登場したミストや噴水シャワー。「気持ちいい！」と暑い中でも開放感を味わっていました。また、大きな樺の木に今年もアブラゼミがジージーと鳴き、毎日セミ捕りをして楽しんでた子ども達でした。



☆里山体験☆

7月22日(水)、年長児が石川県の事業である「里山こども園」に参加しました。白山市にある吉岡園地へベクトルボトルで作った探検バックをもって出発！

初めにインストラクターから危険な虫や生き物についてのお話のあと、グループに分かれて散策開始！「虫の音がする！」「この地面、ふかふ



かでお布団みたい！」等とあちらこちらから声が。見つけた虫達はこの公園が家で、家族や友達がいるので放してあげようね、ということになり、帰りにみんなで逃がしてあげました。自然を五感で感じながら、命を大切にするといい気持ちも持てたようです。

☆おたのしみ会☆

夏休みの登園日に、夏祭り風のお楽しみ会をしました。くじびき、輪投げ、金魚すくいなどを楽しみ、お土産におすしやジュースをもらいました。先生のマジックショーもあり、「え、どうして？」と紙コップの中の小さな玉が消えた様子に、大盛り上がりでした。



☆園見学会☆

8月29日(土)、来年度の2歳児・満3歳児対象と年少児対象の園見学会を行いました。日頃の子ども達の遊んでいる様子の映像を見ていただき、そのあと園内や園庭を見て回り、室内環境や園庭を見て、星稜泉野幼稚園の良さを実感してもらえたと思います。たくさんのお友達が来てくれたらいいな。



オトナのカタミ

子どもにとっての「母親」とは？



山川 賀世子
(金沢星稜大学 人間科学部准教授)



今年、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、親は仕事に、子どもは学校に行くことができず、家族が長時間、家にとどまるようになりまし。それによって、育児ストレスや夫婦の不和を感じることが増加したり、逆に、親子で過ごす時間が増え、子どものことがよくわかるようになったと感じている方もいらっしゃると思います。そして、コロナによる休校中には、在宅で仕事をしながら子どもの3食を用意することが大変な母親や、学校の課題を子どもにやらせることに苦労した母親の話などを多く耳にしました。

私はこれらについて聞かたに、やはりまだまだ母親が育児の多くを担っているのだと、改めて感じました。

ボウルヴィの「愛着理論」

私の専門は発達心理学ですが、その中でも親子関係、特に「愛着」という分野の研究を続けてきました。私の研究の基となっているのが、イギリスの精神科医であったジョン・ボウルヴィによる「愛着理論」です。ボウルヴィは、「Attachment and Loss (愛着と喪失)」という著書の中で、幼い子どもが恐怖を感じたり、病氣や疲れなどで弱っている時、特定の人間に接触を求め、安全や安心感を得ようとする絆のことを「愛着 (アタッチメント)」と呼びました。愛着の最もよく見られる例は、やはり、子どもとその主たる養育者の間の結びつきでしょう。けれども、ボウルヴィ自身はこの著書の中で、「愛着対象 (子どもから愛着を向けられる対象) は母親でなければならない」とは一言も述べていません。愛着対象は、母親である

必要もなければ、血のつながった人間である必要もないのです。しかし、日本でこの本が翻訳された際に、「母子関係の理論」というタイトルがつけられたこともあり、日本では、この「愛着理論」が示す子どもの愛着対象は母親である、という一つの誤解が生まれました。そして、これは、同時に「子育てを行うのは母親でなければならない」、「小さな子どもの世話には、母親が最適である」というような通説に変わり、例えば「3歳児神話」のような、現在でも母親を追い詰めている誤った価値観が生まれるようになりました。

子ども自身が選ぶ「好きな人」

しかし、子ども自身はどうなのでしょう。子育てにおいて母親の重要性を特に強調するということは、子ども自身もいつも母親と一緒にいたい、母親に世話をしてもらいたい、と望んでいるということでしょうか。心理学の「ソーシャル・ネットワーク」という多くの人々との関係を重視する立場で作成された、子どもにとって重要な相手を選べる P A R T (Picture Affective Relationships Test; 高橋, 1978-1989; 2000) というテストがあります。これは、子どもの日常生活で愛情要求 (この時には、この人に側にいてもらいたい) が出現するだろうと予想される場面を描いた15枚のカードを使い、子どもに一枚ずつ示し、15の場面それぞれ「誰に最も来てほしいか」を尋ねるものです。例を挙げると、「ケガをした時には、誰に最も側にいてほしいですか?」、「お風呂に入る時には、誰と最も入りたいたいですか?」というような質問をしていきます。このような質問に答える

ことが可能になるのは、だいたい3歳頃からとされていいますので、PARTを使って3歳児73名に質問をしたところ、15の場面でさまざまな相手に来てほしい、という子どもの回答が得られました。平均を見ると、3歳でも母親を最も来てほしい人として選んだのは、15場面のうち約35%で、それ以外は父親やきょうだい、祖父母、友だちや先生などをはじめとした多様な人が報告され、さらに、「二人がいい」という回答もありました。

このことは、子どもが質問に答えられるかなり以前から、子どもの様子を観察することによって明らかにされており、例えば、乳児期の子どもが、母親よりも父親と一緒に遊ぶことを好んだり、お隣のお姉さんが来た時に最も喜ぶ、という様子を見せることは実際にしばしば起こることです。

若い世代の意識の変革を

以上のことを考えますと、子どもが小さい時期であっても、常に子どもの世話をするのは母親が良い、ということとは、子どもにとって正解ではないことがよくわかります。しかし、私たちにはそのような思い込みがまだまだあり、これは、子どもを持つ前の大学生のような若い世代でも同様です。

大学の授業で、このPARTに、「自分が3歳の頃のことを考えて答えてください」と言って答えてもらうと、15場面のほとんどを「母親」と答える学生の割合は非常に高いのです。私は、この母親の出現率は、学生が本当に3歳の時にPARTを行うと、もっと低いだろうと思っています。実際、小学生の場合でも、PARTを小学生に答えて

てもらい、さらにその母親に、同じ場面で子どもが誰を選ぶかを尋ねた研究 (柴田ら, 2015) で、子どもが報告した以上に、母親は子どもにとって自分が重要であると回答したことが示されています。また、私は保育者や教員になることを志す学生達に授業を行うことがほとんどですが、子どもが園や学校で問題行動を示した事例などについてディスカッションを行うと、「母親と話し合う」という意見が必ずといっていいほど聞かれます。このような時、母親ではなく、自然に「親」や「保護者」という発想ができるような保育者や教員を養成することも、大切なことだと考えています。

日本の母親は、子どもにとっての自分の重要性や責任の重さを理解しすぎるほどしている方が非常に多いと感じます。私は臨床心理士として、保育園などで保護者の相談に応じることがありますが、ごく小さなことに胸を痛め、相談を申し込んでこられる方は必ず母親です。しかし、これからは、「自分が子どもをきちんと育てられる良い母親であるか」ということは少し置いておいて、「子どもは、自分以外に良い関係を築けている人があるかどうか」ということを気にしてみることも意味のあることだと思います。母親は子どもにとって重要な存在ですが、非常に小さな子どもでも、母親との二人だけの世界で生きているわけではないのです。母親こそが、「多くの人が協力して自分の子どもを大切に育てる」という発想を持つことは、これからの子どもたちのより良い発達にとって、とても意味のあることだと思います。

北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



マーケティングプロダクト課

小矢部 文香

(星稜高等学校 第46期卒)

通販サイトを通して 地域の魅力を全国へ。

私は平成22年に星稜高校を卒業後、富山県の大学を経て、平成27年に北國銀行に入行しました。入行してから窓口業務や融資業務、ローン業務など様々な業務を経験し、6年目となる現在はマーケティング部プロダクト課(兼北國マネジメントBC事業部)で銀行発の通販サイト「COREZO(コレゾ)」の運営に携わっています。COREZOとは、北陸の様々な魅力溢れる商品や体験を、銀行員ならではの目線で紹介しています。具体的な業務内容としては、サイト内の企画制作や、販売促進活動、集客分析など多岐にわたります。「銀行員が通販サイト？」と思われる方もいらっしゃるかと思います。で

すが、世の中は空前のキャッシュレス時代が到来し、ネット通販の需要は急速に伸びています。また今年は新型コロナウイルスの影響により、様々な分野で商流が滞ったことで、苦境に立たされている地元の生産者様が多くいらっしゃいます。このような環境下であっても、地域に根差した地元の銀行員だからこそ、いち早くお客様が抱えている課題を察知し、共に解決への道筋を立てることができると考えています。これからは地元の守るべき素晴らしいものづくりや伝統、文化を北陸地域のみならず、全国へ発信していきたいと思っています。

ところで、現在銀行員として働いている私ですが、高校時代のクラスは理系でした。当時の私は、まさか将来自分が銀行員になるとは夢にも思っていなかったでしょう。今振り返ると当時は自分の将来に悩み、迷い、模索していた時期だったのだと思います。そんな時期に多くの生徒が学ぶ星稜高校でたくさんの友人や先生方と出会えたことは、今の私にとっての財産です。生徒の皆様におかれましては、コロナ禍の中、部活動や勉強等大変な日々を過ごされているかと思いますが、どうかお体に気を付けて、是非悔いのない高校生活を送ってください。皆様方の今後のご活躍を心より願っています。



COREZO



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまででもこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

 北國銀行

<http://www.hokkokubank.co.jp>

総合研究所・ 地域連携センター だより



地域連携センター

「星稜ジャンプ」

地域活動プロジェクト 活動団体が決まりました！

昨年度まで「SEIRYO JUMP PROJECT (SJP)」として公募を行っていましたが、学びと地域貢献を両立させる場として学生達が積極的に地域で活動することを推奨するため「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト(ちいプロ)」として制度が新しくなりました。

2020年度は書類審査の結果、継続型6団体が活動を行うことになりました。新型コロナウイルスの影響を念頭に、慎重に計画を立て活動の準備をしてきました。各団体の今後の活躍にぜひご注目ください。

2020年度 ちいプロ活動団体一覧

【継続型】

- ①いしかわ子ども交流センター
活性化プロジェクト
- ②星稜 Rainbow
- ③HACK
- ④キッズプログラミングアカデミー
- ⑤ろ〜かるらぼ
- ⑥つながる図書館プロジェクト



ちいプロについて
詳しくは本学 web サイトより
ご確認ください。

地域連携センター

〈活動中の主な事業〉

さまざまな研究、実践活動を通して、
地域とのつながりを強めるとともに、
学生の課題解決能力の向上を目指します。

松任駅南地区(駅から在来商店街の地域)の
にぎわい創出

地域課題研究ゼミナール支援事業

新 広昭 経済学部教授、齋藤 千恵 人文学部教授
梅田 充 経済学部講師、牧野 耀 経済学部助教

大学コンソーシアム石川の地域課題研究ゼミナール支援事業の一環として、松任駅南側地区のにぎわい創出を目的に、日頃の利用者層やそのニーズの実態把握と松任駅南地区周辺が日常的ににぎわうためのアイデアについて、様々な調査(二部実施済)の結果をもとにマーケティング、観光学、エリアマネジメントなどの手法により、学生の視点から同地区のにぎわい創出の具体的な政策提案を行うものです。同地区には、文化施設や北国街道などの歴史的景観があり、これらのポテンシャルを引き出し、活用することが重要となります。

松任駅南地区の現地調査では、連携自治体である白山市役所SDGs推進室の担当者より地域課題を共有していただき、白山市観光ボランティアの方から地域の文化施設や地域の歴史について解説を受けました。地域理解をもとに、各ゼミナールの学生達が学生の視点から、新しい生活様式に適した、にぎわい創出に取り組みます。



地域資源を生かした自然体験プログラム
によるふるさと教育の実践

いしかわ里山塾事業 七尾班
西村 貴之 人間科学部 准教授

この活動では、七尾市南大谷地域の里山をフィールドとし、大谷グリーンツーリズム推進協議会、七尾市立東湊小学校と連携・協働しながら、本学スポーツ学科地域スポーツマネジメントゼミナールの学生を中心に企画・運営しています。

「総合的な学習」の一環として、大学生企画の「里山フィールドアスレチック」、「里山オリエンタリング」に小学生が参加し、地元の豊かな自然資源について興味・関心をもってもらい、その後「ふるさと教育」につながる出前授業(ワークシヨップ)を実施します。地域の未来について小学生と大学生が一緒になって理解を深め、考察することで、地域の担い手育成につなげていけるよう取組を継続しています。

なお、本取組は世界農業遺産活用実行委員会(石川県里山振興室内)から本学地域連携センターへの委託事業として実施されています。



※昨年度の活動の様子

「金沢星稜大学市民講座2020」中止のお知らせ

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止のため誠に勝手ながら開催を中止させていただくこととなりました。詳しくは本学 WEB サイトをご確認ください。



総合研究所

大学・短大部 WEBオープンキャンパス星稜LIVE

8月22日(土)、23日(日)、9月13日(日)の3日間、WEB オープンキャンパス星稜 LIVE を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、対面式のオープンキャンパスを取りやめ、初のオンラインでの実施となりました。初めての試みで不安もありましたが、3日間で延べ725人の高校生、保護者、教育関係者の皆様よりお申し込みがあり、頂いた多くのご質問に学生が答えました。



例年、本学のオープンキャンパスは学生が企画運営しており、大学は「オープンキャンパス活性化プロジェクト」、短大部は「星短オープンキャンパスプロジェクト」という団体に所属する学生が主体となって実施しています。4月から約半年間は学内での活動が制限されていたこともあり、新メンバーの募集や当日までの練習が対面で行えず、意思疎通が上手くいかない、スムーズに物事が進まないなどの困難もありました。そんな中でも、活動の目的である「高校生に本学の魅力を伝えよう」の想いは変えず、講義がオンラインならば、自分達の活動もオンライン、とSNSやオンライン会議システムを使い工夫しながら活動しました。



当日は、経済学科・経営学科・こども学科・スポーツ学科・国際文化学科・短期大学のそれぞれで、時間を区切り実施しました。オープニングの学長挨拶に始まり、教員による学科の紹介、在学生によるトークライブや学生生活、CDP、就職支援の紹介に加え、短大部ではガールズトーク、こども学科では楽器を使ったアンサンブル、国際文化学科では英語で留学体験を披露するなど、それぞれの学生が工夫を凝らした企画を用意し、大学の各学科と短大部の特色を紹介。画面越しにはなりましたが、精一杯本学の魅力をお届けしました。



思い出撮影会 ～屋外トランポリン～

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で予定されていた大会が延期や中止となりました。一時は大学トランポリン部の活動自体も休止しており、競技に対する気持ちや目標を設定するのが難しい期間でした。特に来春卒業を迎える4年次は全日本学生選手権など学生最後の大会の開催、出場が叶わない中、せめて思い出に残る事ができないかと考え、自分達の演技を写真に収めようと写真撮影会を行いました。普段、大学生も高校の体育館を借りて活動をしているので大学と高校が背景に入るように撮影しました。当日はあいにくの曇り空でしたが屋外での跳躍は開放感と新鮮さがあり笑顔の絶えない時間となり夏の思い出的一幕となりました。



「目的のある美」を求めて ～準ミス・ワールド日本代表への軌跡～

昨年、ミス・ワールド・ジャパン地方大会出場の話があり、教員を目指しながらも少しばかり女性が輝く世界にも関心があった山口佳南さん（大学・人間科学部スポーツ学科4年次）は、自分の可能性を求めて石川大会にエントリーしました。約70名の応募者の中から書類審査や面接を経て、ファイナリストの5名に残りました。ここから彼女のシンデレラストーリーが幕を開けます。ファイナリストに選ばれてからは、ビューティーレッスンで数多くの審査項目に向け、ウォーキングや英語、プレゼン力などの様々な教養を身につけ、見事7月の石川大会でグランプリに輝き、2カ月後の日本大会（8,788名→35名）への出場権を獲得しました。ここから彼女のさらなるストイックな追い込みが始まります。東京を拠点にしてからこれまで以上の知・徳・体の教養を身につけ、スポーツ部門では1位を獲得。そして、ミス・ワールド・ジャパンを狙い続けて約9カ月の日本大会当日。見事「準ミス・ワールド日本代表」に輝きました。



サッカー大好き! 星稜U-6FC

2015年6月、金沢星稜大学サッカー部の協力で、星稜幼稚園初の課外活動「星稜U-6FC」が発足しました。27人でスタートした「星稜U-6FC」も6年目の今年度は、52人となり大人気の課外活動となっています。

魅力は、元Jリーガーの大学サッカー部小松崎保監督をはじめ、大学サッカー部の選手の皆さんが一人ずつ丁寧に関わってくださっていることです。監督は、「サッカーを大好きになってもらう」を使命とし、指導者1人が6人程度の園児を担当する少人数制で、細部まで行き届く指導でサッカーの魅力と技術を教えてくれています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環として休止していましたが、9月9日(水)満を持して再開!朝から興奮気味の園児からはうれしさが伝わり、活動中も笑顔と歓声に溢れ、久しぶりの感覚を味わっていました。

これからも大学サッカー部との連携で、大好き!を育みます。



「元気☆勇気☆笑顔」のチアリーディング!

星稜泉野幼稚園では、今年度の7月から課外活動として「チアリーディング」を取り入れました。年中児18名、年長児13名、合計31名が加入しています。年中児の中には2名のチアボーイがいます。コーチの中塚泰子氏は日本チアリーディング協会 Class1指導員、北信越チアリーディング連盟理事、キラキラkidsの代表です。

9月から星稜カラーのユニフォームを着ての練習が始まりました。チアリーダーの基本は、みんなに元気、勇気、笑顔伝えることです。その3つが伝わる演技を目指しています。今はハイV、Tモーション、パンチアップ、ブレイクなどの用語を覚え、笑顔で元気いっぱい練習に励んでいます。

夢は星稜高校のチアリーダー部のお姉さん達と一緒に、野球やサッカーの応援に行くことです。



行事スケジュール (10月～12月)

※変更の可能性あります。

金沢星稜大学

10	5日(月)	通常講義日(創立記念日)
	10日(土)・24日(土)	補講日
	31日(土)・11月1日(日)	流星祭
11	3日(火)・6日(金)	通常講義日(文化の日)
	14日(土)	補講日
	21日(土)	学校推薦型選抜(学内立入禁止)
	23日(月)・26日(木)	通常講義日(勤労感謝の日)
12	5日(土)	総合型選抜(学内立入禁止)
	12日(土)・19日(土)	補講日
	13日(日)	オープンキャンパス(一般選抜対策講座)
	23日(水)～1月3日(日)	年末年始休講期間
	24日(木)・25日(金)	休業日(9/21・9/22授業分)

金沢星稜大学女子短期大学部

10	5日(月)	通常講義日(創立記念日)
	10日(土)・24日(土)	補講日
	31日(土)・11月1日(日)	流星祭
11	3日(火)・6日(金)	通常講義日(文化の日)
	14日(土)	補講日
	21日(土)	学校推薦型選抜(学内立入禁止)
	23日(月)・26日(木)	通常講義日(勤労感謝の日)
12	5日(土)	総合型選抜(学内立入禁止)
	12日(土)・19日(土)	補講日
	13日(日)	オープンキャンパス(一般選抜対策講座)
	23日(水)～1月3日(日)	年末年始休講期間
	24日(木)・25日(金)	休業日(9/21・9/22授業分)

星稜高等学校

10	3日(土)・10日(土)	学校説明会
	24日(土)・31日(土)	
	5日(月)	創立記念日
	6日(火)～9日(金)	中間試験
11	2日(月)	教育ウィーク(授業公開)
	4日(水)～6日(金)	
	7日(土)	学校説明会
12	1日(火)～4日(金)	期末試験
	5日(土)	休業日(12/12と入替)
	12日(土)	授業日(12/5と入替)
	21日(月)	終業式
	22日(火)～24日(木)	保護者懇談会

星稜中学校

10	5日(月)	創立記念日
	6日(火)・7日(水)	中間試験
	17日(土)	学校説明会
11	2日(月)	教育ウィーク(授業公開)
	4日(水)～6日(金)	
	8日(日)	学校見学会
	21日(土)	学校説明会
12	1日(火)～3日(木)	期末試験
	5日(土)	休業日(12/12と入替)
	12日(土)	授業日(12/5と入替)
	21日(月)	終業式
	22日(火)～24日(木)	保護者懇談会

あとがき

さわやかな風が吹き抜ける、過ごしやすい季節となりました。金木犀の花の甘い香りや、うっすらと赤や黄色に色づき始めた木々の葉に、秋の訪れを感じます。私が所属する大学・短期大学部では9月から後期の授業が始まり、ようやくキャンパスに学生の姿が戻ってきました。新型コロナウイルス感染症は未だ収束の兆しを見せておらず、学校生活においても今まで通りとはいかないことがまだまだ多いですが、そのような状況の中でも授業やさまざまな活動に懸命に励む学生の姿に心を打たれ、力をもらっています。私も彼らの力になれるよう、微力ながら尽くしていきたいと思っています。

一日も早く、また日常が戻ってきますように。

金沢星稜大学 金沢星稜大学女子短期大学部 エクステンション課 江口 侑衣

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	1日(木)	お月見コンサート
	3日(土)	運動会(年長・年中)
	5日(月)	創立記念日
	8日(木)	子育てステーション(0歳)
	12日(月)	子育てステーション(1歳)
	13日(火)	芋ほり遠足(年長)
	14日(水)	内科検診
	17日(土)	U-6FC星稜大会
	21日(水)	子育てステーション(2歳)
	22日(木)	避難訓練
	27日(火)	誕生会
	28日(水)	歯科検診
11	4日(水)	歯科検診
	11日(水)	子育てステーション(0歳)
	18日(水)	子育てステーション(1歳)
	19日(木)	避難訓練
12	25日(水)	子育てステーション(2歳)
	26日(木)	誕生会
	2日(水)	子育てステーション(1歳)
	3日(木)	子育てステーション(0歳)
	7日(月)～22日(火)	クリスマス参観
	8日(火)	避難訓練
	9日(水)	子育てステーション(2歳)
	22日(火)	誕生会
	24日(木)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

10	2日(金)	秋まつり
	5日(月)	創立記念日
	8日(木)	いもほり(年中)
	9日(金)	いもほり(年長)
	12日(月)	リトミック(年少)
	14日(水)	小児科健診
	15日(木)	避難訓練
	21日(水)	小児科健診
	27日(火)	運動会
11	2日(月)・4日(水)	茶道(年長)
	5日(木)	歯科検診
	9日(月)	リトミック(年少)
	11日(水)	避難訓練
	12日(木)	太鼓(年中)
	16日(月)～19日(木)	紙漉き体験(年長)
	3日(木)	避難訓練
12	16日(水)～18日(金)	小さな発表会
	24日(木)	サンタの日・終業式

星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い 締切 11/30

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。下記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1

TEL 076-253-3924 (代表)

(大 学) http://www.seiryu-u.ac.jp/u/

(短 大) http://www.seiryu-u.ac.jp/c/

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地

TEL 076-252-2237 (代表)

http://www.seiryu-hs.jp

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地

TEL 076-252-5057 (代表)

http://kinder.seiryu.jp/seiryu/

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号

TEL 076-244-5636 (代表)

http://kinder.seiryu.jp/izumino/